

## 獎勵品種等特性表

# 奨励品種等特性表の利用に当たって

## 1 品種選定上の注意

- (1) 品種の特性を発揮させるためには、まず、それぞれの置かれた地域の気象条件、ほ場の土壌条件などの立地条件を的確に把握し、それに基づいて適する品種を選ぶことが大切である。
- (2) しかし、奨励品種といえども万能ではありえないので、栽培の基本技術を忠実に守って、その品種の短所を補い、長所を十分発揮できるような肥培管理をすることが大切である。
- (3) 米については食生活の高度化、多様化が進み、消費者側からも良質佳味な米が要請されているので、良質品種の選択とともに、収穫、乾燥の適正化に努め、商品としての価値を高めることが大切である。

## 2 利用上の注意

- (1) 水稲・麦・大豆共通
- ア 本表の数値等は農業技術センターで得られた成績であり、一般農家の平均値ではないことに留意すること。
- イ 本表に示された「難易」、「多少」、「強弱」、「上下」などの評価は、本県の品種の相対的比較によって表示した。
- ウ 「適地」は次の区分による。さらに区分が必要な場合は標高等で示した。
- 高冷地：標高500m以上
- 北 部： 〃 300～500m未満
- 中 部： 〃 150～300m未満
- 南 部： 〃 150m未満
- (2) 水稲
- ア 「品質」：農林水産省の検査基準を参考とし、相対的比較で表示した。
- イ 「食味」：農業技術センターの食味官能試験に準じて評価し、表示した。
- ウ 「穂発芽性」：出穂後30日の穂について、25℃の発芽床で検定し、検定基準種との比較で表示した。
- エ 「耐冷性」：冷水掛流し検定、障害型冷害の発生程度を相対的に比較し表示した。
- オ 「いもち病真性抵抗性遺伝子型」の分類

判別品種	新2号	愛知旭	石狩白毛	関東51号	ツユケアケ	フクニシキ	ヤシロモチ	Pi No.4	とりで1号
抵抗性遺伝子	+	<i>Pia</i>	<i>Pii</i>	<i>Pik</i>	<i>Pik-m</i>	<i>Piz</i>	<i>Pita</i>	<i>Piz-2</i>	<i>Piz-t</i>

注) 遺伝子の「+」は抵抗性遺伝子を持たないものを示す。

カ 「いもち病圃場抵抗性」の表示は、rr (極強)、r (強)、m (中)、s (弱)、ss (極弱)を示す。

## (3) 麦

「秋播性程度」：生育初期における短日、低温要求の度合いを示すもので、その程度は7階級に分類されている。低温要求度の最も高いものをⅦとして表示し、Ⅴ～Ⅶを秋播型、Ⅰ～Ⅲを春播型と呼んでいる。秋播型は遅播で減収しやすい。

# 1 水稲

種類	水稲うるち						
栽培型	普通						
早晩性	極早	極早	早	早	早		
品種名	あきたこまち	広島21号 (こいもみじ)	ひとめぼれ	コシヒカリ	ホウレイ*		
来歴	コシヒカリ× 奥羽292号	サチイズミ× ふ系141号	コシヒカリ× 初星	農林22号× 農林1号	トドロキワセ× 東海33号		
育成場所 育成年	秋田農試 昭59	広島農技セ 平9	宮城県 古川農試 平3	福井県農試 昭31	愛知県農総試 山間 昭56		
採用年次	平2	平10	平8	昭56		昭56	
供試年次	平5~14	平6~14	平7~14	平5~ 14	平8~ 令2	平4~13	
播種期(月・日)	4.18	4.19	4.18	4.19	4.26	4.18	5.10
試験場所	大朝	大朝	大朝	大朝	八本松	大朝	八本松
田植期(月・日)	5.8	5.9	5.8	5.9	5.18	5.8	5.30
出穂期(月・日)	7.26	7.26	7.30	8.3	7.31	8.4	8.10
成熟期(月・日)	9.4	9.7	9.9	9.17	9.6	9.19	9.19
稈長(cm)	76	77	75	85	89	79	82
穂長(cm)	18.9	19.5	19.4	19.1	18.5	17.6	17.7
穂数(本/m <sup>2</sup> )	402	375	438	412	362	391	337
草型	偏穂数	偏穂重	偏穂数	偏穂重		偏穂重	
芒の多少・長短	稀・短	少・短	やや少・短	少・短		無	
ふ先色	黄白	黄白	黄白	白		白	
玄米千粒重(g)	22.8	24.2	23.7	22.6	22.7	23.1	23.0
玄米重(kg/10a)	596	684	627	593	581	614	495
品質	上の中	上の下	上の中	上		上	
心白の多少	無	無	無	無		無	
食味	上の中	上の中	上の上	上の上		上の下	
脱粒性	難	難	難	難		難	
穂発芽性	やや難	中	難	難		やや難	
耐倒伏性	やや弱	強	やや弱	弱		強	
耐冷性	強	極強	極強	極強		やや強	
葉いもち抵抗性	やや弱	やや強	弱	弱		やや強	
穂いもち抵抗性	やや弱	やや強	弱	弱		やや強	
いもち病 真性抵抗性遺伝子型	<i>Pia</i> <i>Pii</i>	<i>Pia</i> <i>Pii</i>	<i>Pii</i>	+		<i>Pii</i>	
いもち病圃場抵抗性	s	m	ss	ss		r	
白葉枯病抵抗性	やや弱	—	やや弱	強		弱	
紋枯病抵抗性	やや強	中	中	強		中	
ごま葉枯病抵抗性	強	—	やや強	中		中	
イネカラバエ抵抗性	中	—	—	中		強	
適地	北部・高冷地 400m以上	北部・高冷地 350~600m	北部・高冷地 300~550m	550m以下		500m以下	
優点	良質 良食味	多収, 良食味, 耐倒伏, 耐いもち 病, 耐冷性	良質 良食味 耐冷性	良食味 耐冷性 穂発芽難		多収, 良質, 耐倒 伏, 掛米適性	
欠点	収量やや低, いもち 病弱, 倒伏弱	多肥で品質低下 熟色やや不良	いもち病弱 倒伏やや弱	いもち病弱 倒伏弱		白葉枯病やや弱 止葉枯	
栽培上の注意	いもち病抵抗性お よび耐倒伏性に劣 るので多肥栽培を 避ける	品質が低下する ので多肥栽培は 避ける	いもち病の徹 底防除 適地選定 N減施	いもち病の徹底 防除 適地選定 N減施		後期重点施肥で特 性発揮 根の健全化要	

※ ホウレイは平成26年度に奨励品種から廃止されたものの、「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づく知事特認多収品種であるため掲載している。

種類	水 稲 う る ち				
栽培型	普通				
早晚性	早	中	中	中	中
品種名	あきさかり	中生新千本	あきろまん	ヒノヒカリ	恋の予感
来歴	北陸159号(あ わみのり)×越 南173号	農林22号×隼	ミネアサヒ× 中生新千本	黄金晴× コシヒカリ	きぬむすめ× 中国178号
育成場所 育成年	福井県農試 平20	愛知県農事試 昭25	広島農技セ 平5	宮崎農試 平元	近畿中国四国農 研 平元
採用年次	平26	昭29	平6	平3	平26
供試年次	平27～令2	平8～令2	平16～令2	平13～令2	平26～令2
播種期(月・日) 試験場所	4.26 八本松	4.26 八本松	4.26 八本松	4.26 八本松	4.26 八本松
田植期(月・日)	5.18	5.18	5.18	5.18	5.18
出穂期(月・日)	8.3	8.11	8.13	8.15	8.21
成熟期(月・日)	9.11	9.20	9.22	9.26	10.5
稈長(cm)	73	78	87	84	78
穂長(cm)	18.2	19.1	19.5	19.0	19.8
穂数(本/m <sup>2</sup> )	405	427	340	364	302
草型	偏穂数	穂数	偏穂重	偏穂重	偏穂重
芒の多少・長短	稀・短	少・短	少・短	稀・短	稀・短
ふ先色	白	白	白	白	白
玄米千粒重(g)	22.4	23.6	22.5	22.1	22.8
玄米重(kg/10a)	660	595	604	564	664
品質	中の上	中の上	上の中	中の上	上の中
心白の多少	少	無	無	微	微
食味	上の上	上	上の上	上の上	上の中
脱粒性	難	中	やや難	難	難
穂発芽性	やや難	中	難	難	やや難
耐倒伏性	強	やや強	やや強	やや強	やや強
耐冷性	中	—	—	—	—
葉いもち抵抗性	やや弱	中	中	中	中
穂いもち抵抗性	中	中	中	中	やや強
いもち病 真性抵抗性遺伝子型	<i>Pia</i> <i>Pii</i>	<i>Pia</i>	—	<i>Pii</i>	<i>Pia</i> <i>Pii</i>
いもち病圃場抵抗性	m	m	m	m	m
白葉枯病抵抗性	弱	弱	弱	弱	やや弱
紋枯病抵抗性	—	弱	中	中	中
ごま葉枯病抵抗性	—	中	中	—	—
イネカラバエ抵抗性	—	やや強	—	—	—
適地	中北部 150～500m	中北部 200～350m	中北部 150～350m	南部 200m以下	南部 150m以下
優 点	良食味 耐倒伏 多収	多収 良質 掛米適性	多収 良質 良食味 耐倒伏	良質 良食味	高温登熟性に優 れる 良食味 多収 縞葉枯病抵抗性
欠 点	胴割れ	白葉枯病弱 脱粒性中	白葉枯病弱	白葉枯病弱	白葉枯病やや弱
栽培上の注意	葉いもちに対し ては「やや弱」 であることから、 適期防除に 努める	耐肥性がある が、晩植日陰地 では収量が劣る	穂数が少ないの で極端な疎植は 避ける	葉色が淡いので 多肥にならない よう注意	葉いもち病に弱 いが、穂いもち には中程度に強 いため、基幹防 除で対応可能

種類	水稻うるち（酒造好適米）				
栽培型	普通				
早晚性	早	早	中	中	中
品種名	八反 35 号	八反錦 1 号	改良雄町	こいおまち	千本錦
来歴	八反 10 号× 秀峰	八反 35 号× アキツホ	比婆雄町× 近畿 33 号	改良雄町× ニホンマサリ	中生新千本× 山田錦
育成場所 育成年	広島県農試 吉舎支場 昭 37	広島県農試 昭 58	島根県農試 赤名分場 昭 35	広島農技セ 平 5	広島農技セ 平 10
採用年次	昭 37	昭 59	昭 37	平 6	平 12
供試年次	平 13～16	平 13～16	平 13～16	平 13～16	平 13～16
播種期（月・日） 試験場所	4. 24 八本松	4. 24 八本松	4. 24 八本松	4. 24 八本松	4. 24 八本松
田植期（月・日）	5. 20	5. 20	5. 20	5. 20	5. 20
出穂期（月・日）	8. 06	8. 04	8. 15	8. 09	8. 14
成熟期（月・日）	9. 15	9. 16	9. 25	9. 24	9. 25
稈長（cm）	90	80	92	84	91
穂長（cm）	18. 8	18. 7	20. 2	20. 7	19. 6
穂数（本/m <sup>2</sup> ）	264	321	316	330	266
草型	穂重	中間	穂重	偏穂重	穂重
芒の多少・長短	無	少・短	中・中	少・短	稀・極短
ふ先色	白	白	白	白	黄白
玄米千粒重（g）	23. 7	25. 8	25. 7	25. 7	25. 7
玄米重（kg/10a）	358	461	399	422	385
品質	上の中	上の上	上の上	上の上	上の中
心白の多少	やや多	多	多	多	中
食味	極良(酒)	極良(酒)	極良(酒)	極良(酒)	極良(酒)
脱粒性	易	難	難	難	やや易
穂発芽性	中	やや難	やや易	やや難	やや易
耐倒伏性	弱	中	弱	中	中
耐冷性	中	中	中	—	—
葉いもち抵抗性	中	弱	弱	中	やや弱
穂いもち抵抗性	やや弱	弱	中	中	やや弱
いもち病 真性抵抗性遺伝子型	+	+	+	-	-
いもち病圃場抵抗性	s	s	m	m	m
白葉枯病抵抗性	やや弱	やや弱	中	—	—
紋枯病抵抗性	中	弱	中	中	中
ごま葉枯病抵抗性	やや強	弱	やや強	中	中
イネカラバエ抵抗性	やや弱	中	中	—	—
適地	中北部 中田	中北部 200～400m	中部	中部	中北部 350m 以下
優点	早熟 高度精白向き	多収，大粒，心 白多，耐倒伏 脱粒・穂発芽難	良質 心白多	良質 心白多 耐倒伏	良質 耐倒伏 高度精白向き
欠点	いもち病弱 白葉枯病弱 耐倒伏性弱 脱粒易	いもち病弱 紋枯病弱	葉いもち弱 耐倒伏性弱	碎米やや出易い	いもち病弱 脱粒・穂発芽 やや易
栽培上の注意	地力中庸・排水 良好な砂壤土田 に適す	地力中庸～上田 で排水良好田に 適す	地力中庸～やや 上田で排水良好 な壤土～砂壤土 に適す	過剰な施肥を避 ける 適期刈取励行	後期窒素の制 限，整粒歩合向 上に努める多肥 栽培は避ける

種類	水 稻 も ち	
栽培型	普通	
早晚性	早	早
品種名	ヒメノモチ	ココノエモチ
来歴	大系 227× こがねもち	中部 26 号× 稲系糯 108 号
育成場所 育成年	東北農試 昭 47	愛知県農総試山間 昭 63
採用年次	昭 59	平 8
供試年次	平 5～11	平 5～11
播種期 (月. 日)	4. 18	4. 18
試験場所	大朝	大朝
田植期 (月. 日)	5. 8	5. 8
出穂期 (月. 日)	7. 28	8. 3
成熟期 (月. 日)	9. 7	9. 18
稈長 (cm)	76	71
穂長 (cm)	20. 0	19. 8
穂数 (本/m <sup>2</sup> )	292	373
草型	穂重	偏穂数
芒の多少・長短	稀・短	稀・短
ふ先色	白	赤褐
玄米千粒重 (g)	23. 9	22. 3
玄米重 (kg/10a)	504	588
品質	上の下	上
心白の多少	—	—
食味	上	上
脱粒性	難	難
穂発芽性	やや易	難
耐倒伏性	やや弱	強
耐冷性	やや強	強
葉いもち抵抗性	中	やや強
穂いもち抵抗性	中	やや強
いもち病 真性抵抗性遺伝子型	<i>Pik</i>	<i>Pia</i>
いもち病圃場抵抗性	m	m
白葉枯病抵抗性	中	中
紋枯病抵抗性	中	中
ごま葉枯病抵抗性	中	強
イネカラバエ抵抗性	中	強
適地	北部・高冷地	北部・高冷地 150～550m
優 点	耐いもち病 耐冷性	多収 良質 穂発芽難
欠 点	倒伏やや弱 穂発芽易	還元障害に弱い
栽培上の注意	倒伏し易いので、 施肥、水管理に注 意	還元障害の発生し易 い水田は避ける

## 2 麦

麦種	小麦		大麦
	キヌヒメ	ミナミノカオリ	さやかぜ
品種名	(関東59号×東山18号)×ニシカゼコムギ	PAMPA INTA×西海167号	関東皮70号×すずかぜ
来歴	(関東59号×東山18号)×ニシカゼコムギ	PAMPA INTA×西海167号	関東皮70号×すずかぜ
育成場所	長野県農事試	九州沖縄農研セ	作物研究所
育成年	平12	平16	平16
採用年次	平18	平16	平18
秋播性	IV	I	I
叢生	やや匍匐	中	中
茎立性	中	やや早	中
株の開閉	中	開	中
出穂期(月.日)	4.19	4.18	4.13
成熟期(月.日)	6.9	6.9	5.26
稈長(cm)	85	79	81
穂長(cm)	8.1	7.6	3.7
穂数(本/m <sup>2</sup> )	440	475	441
葉色	淡	中	中
穂型	紡錘状	紡錘状	—
芒の有無・多少	やや少	多	多
芒の長短	中	やや長	中
ふ色	褐	褐	黄褐
穂発芽性	難	やや易	極難
耐倒伏性	強	強	極強
赤かび病抵抗性	弱	やや弱	やや弱
耐寒性	やや強	弱	—
子実収量(kg/10a)	565	524	536
千粒重(g)	42.9	41.9	32.1
適地	標高450m以下	標高300m以下	標高450m以下
優点	早播きが可能 凍霜害と穂発芽に強い 製菓適性が優れる	短稈で倒伏に強い 製パン適性が優れる	粒厚が厚く多収 外観品質が優れる 麦茶適性が優れる
欠点	やや晩熟, 赤かび病に弱い	やや晩熟, 穂発芽しやすい, 赤かび病にやや弱い	赤かび病にやや弱い
栽培上の注意	赤かび病に弱いため適期に防除を行う。	茎立ちが早いいため, 早播きは避ける。 赤かび病に弱いため適期に防除を行う。	赤かび病に弱いため適期に防除を行う。

※数値データは広島県立総合技術研究所農業技術センター（東広島市，標高 224m）における平成 14～令和元年産の平均値。

### 3 大豆

種名		サチユタカ	あきまろ	
早晚性		中生	晩生	
来歴		九交 255・F2×エンレイ	東山系 T683×東山系 T762	
育成場所		九州沖縄農研	近中四農研	
育成年		平成 13 年	平成 23 年	
採用年次		平成 14 年	平成 26 年	
生態的 特性	生態型	Ⅲc	Ⅳc	
	伸育型	有限	有限	
	播種期(月・日)	6.15	6.15	
	開花期(月・日)	8.1	8.3	
	成熟期(月・日)	10.23	11.3	
	密植適応性	大	中	
	晩播適応性	大	大	
	蔓化の難易	難	難	
	耐倒伏性	強	中	
	裂莢性	易	易	
	病害虫 抵抗性	紫斑病	強	強
		大豆モザイクウイルス	中	やや強
		立枯性病害	やや強	やや強
葉焼病		やや強	-	
シストセンチュウ		弱	弱	
形態的 特性	胚軸色	紫	紫	
	小葉の形	円葉	円葉	
	花色	紫	紫	
	毛茸の多少・色	多・白	中・白	
	熟莢色	褐	褐	
	主莖長(cm)	53	71	
	最下着莢節位高(cm)	14.7	20.8	
	主莖節数(節)	14.8	16.2	
	1次分枝数(本/株)	6.0	7.4	
	着莢数(個/m <sup>2</sup> )	774	944	
	子実	粒形	球	球
裂皮		微	極微	
種皮色		黄白	黄	
臍色		黄	黄	
百粒重(g)		35.9	33.7	
収量・品質	子実収量(kg/10a)	352	425	
	粗蛋白質(%)	45.2	42.8	
	粗脂肪(%)	19.6	20.5	
適用地域		標高 500m以下	標高 400m以下	
栽培適性		普通期～晩期密植栽培	普通期～晩期密植栽培	
優点		晩播密植適応性高い,耐倒伏性高い,大粒・多収,蛋白質含量高い	良質・多収,最下着莢高が高い,晩播でも多収,大豆モザイクウイルス病に抵抗性を有する	
欠点		ウイルス病に弱い,青立ちがやや発生しやすい,烈莢しやすい	耐倒伏性やや劣る,青立ち発生・紫斑病抵抗性はサチユタカ並	
栽培上の注意		ウイルス病に弱い,アブラムシ防除を徹底する	晩生品種のため,冬季に積雪の早い地域には適さない	

※数値データは広島県立総合技術研究所農業技術センター(東広島市,標高 224m)における平成 16～令和 2 年産の平均値。